



Annual Report **2023**

東京女子医科大学

令和5(2023)年度 女性医療人キャリア形成センター報告書

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学
理事長 岩本 絹子

平素より本学の活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、令和5(2023)年度「女性医療人キャリア形成センター報告書」が完成いたしました。ぜひご一読いただき、本学の活動へのご理解をより一層深めていただき、今後とも変わらぬご指導ならびにご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

本学の学祖である吉岡彌生先生は、本学の前身である東京女醫学校を創立した理由として、今から約124年前の明治33年当時、とても社会的地位が低かった女性の地位を向上させるためには、女性は経済的能力を持たなければならず、それには自身が医師であり、また、医学医術は女性に適している立派な職業であることを理由として挙げています。本学では、その彌生先生の想いを形にした建学の精神である「医学の蘊奥(うんおう)を究め、兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と、大学の理念である「至誠と愛」を実践することによって社会に貢献し、将来を担う女性医療人を育成しております。その拠点の一つである女性医療人キャリア形成センターにおいては、平成28年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択されたことを皮切りに、男女共同参画推進局から現在の体制へと再編しました。当センターでは、上記事業を推進するための「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と女性医療人リーダー育成部門、女性医師・研究者支援部門、女性医師再研修部門、看護職キャリア開発支援部門の4部門が有機的に連携しながら、本学の最重要課題である建学の精神と大学の理念を体現する人材の育成及び支援に取り組んでいます。

令和5(2023)年度は、令和3(2021)年度に新たに採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」が3年目を迎え、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)の総合評価Aを獲得、学内外教授2名の輩出、オープンイノベーション講演会、介護講演会等の様々な講演会、講習会の開催等、精力的な活動が行われました。

今後も引き続き、本学における本事業の成果がより一層実り多いものとなり、女性医療人が生涯を通じて活躍し続けることができる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学
学長 丸 義朗

建学の精神にある「社会貢献できる質の高い女性医人の育成」こそが学祖吉岡彌生先生から継承されてきた本学の礎である以上、本事業は必要不可欠な取り組みで、事業の継続性は何より重視しています。特に、女性リーダー育成力が弱体化しないよう、大学一丸となって協力して参ります。事業の方法論や成果が、他大学にも波及し、女性医療人育成の手本となることを祈念いたします。

目次

ごあいさつ	1
センター長あいさつ、副センター長あいさつ	4
部門長あいさつ	5
女性医療人キャリア形成センター組織図、運営委員	6
各部門運営委員(2024年3月現在)	7
女性医療人リーダー育成部門	10
女性医師・研究者支援部門	14
女性医師再研修部門	20
看護職キャリア開発支援部門	26
ダイバーシティ環境整備事業推進室	32
YouTube(e-ラーニング)	42
活動報告	44
業績一覧	50
女性医療人キャリア形成センターのあゆみ	55
女性医療人キャリア形成センター基金	56

センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
センター長
肥塚 直美

常務理事

学校法人東京女子医科大学は吉岡彌生先生によって女子の医育機関として明治33年(1900年)に設立されました。本学の建学の精神は「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し、社会に貢献する女性医人を育成する」であり、本学の理念は「至誠と愛」です。この建学の精神と理念に則り、社会に貢献する女性医療人者を育成し、広く地域社会の発展に貢献してきました。本学は文部科学省平成28年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、理事長、学長の強いリーダーシップのもとで女性医療人キャリア形成センターを中心に取り組みを進め、成果を上げることができました。この特色型の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととして令和3年10月に同ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成とさらなる女性登用『YAYOIプロジェクト』」を開始し、取り組みを進めております。令和5年11月27日に文科省JSTによる中間評価の面接審査が行われ、本学の取り組み内容ならびに目標達成度が高く評価され、結果として総合評価「A」をいただきました。

本センターには「女性医師・研究者支援部門」、「女性医師再研修部門」、「看護職キャリア開発支援部門」、「女性医療人リーダー育成部門」のプロジェクト部門とこれら部門と有機的に連携する「ダイバーシティ環境整備事業推進室」を設置し多面的に活動しております。今後も勤務継続支援に加え、キャリア形成を通じてリーダーとなる人材を育成し、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

副センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
副センター長
齋藤 加代子

ゲノム診療科 特任教授

「女性医療人キャリア形成センター」は、文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の最終評価においてA評価を受け、さらに本多祥子ダイバーシティ環境整備事業推進室室長を中心に「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の中間評価においてA評価を頂きました。上位職登用、研究力向上・リーダー育成、ダイバーシティ環境整備の3本柱の下に活動を継続しております。当センターは肥塚直美センター長の下に、女性医師・看護師の勤務継続に対する支援、セーフティネットを提供するだけでなく、医療人としてのキャリア形成とその促進、リーダーシップの育成を目指して継続して本学の女性医療人のキャリア形成支援を牽引しております。様々な事業内容にご支援をくださっている女性医療人キャリア形成センター事務局の皆様に感謝申し上げます。東京女子医科大学における女性医療人のさらなる飛躍を推進するために、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ダイバーシティ
環境整備事業推進室
室長

本多 祥子

解剖学
(神経分子形態学分野)
准教授



2018年4月より前任の野原理子先生を引き継ぎ文科省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)事業の推進に尽力して参りました。2021年度からは同(先端型)が採択され、YAYOIプロジェクトと銘打って様々な形で女性研究者支援を行っております。私自身、YAYOIプロジェクトを通じて様々な分野の素晴らしい方々と出会い、意見交換することができ、念願の介護サポート事業も立ち上げることができました。女性医療人の皆様が、本学で楽しく自由に夢や目標を追求し、全学的な支援のもとで快適にキャリアを形成できるよう、微力ながら引き続き誠心誠意お手伝いをさせていただきます。研究・教育や臨床の現場で日々活躍しておられる皆様のご意見やお力添えが何より大切です。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

女性医療人
リーダー育成部門
部門長

石黒 直子

医学部長
皮膚科学
(皮膚科学分野)
教授・基幹分野長



本部門では、女性医療人の指導者としての資質および能力の開発を支援しています。リーダーとなるために必要なもの、自分の目指す道を見出すためにどのように行動すべきかをとともに考え、実践して頂いております。本科生へのキャリア面談、リーダーシップセミナー、キャリアセミナー、ピアラーニング、FDで構成され、2023年度もWebを活用し実施いたしました。2021年度にあらたに文科省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用として立ち上がった「YAYOIプロジェクト」と連動しつつ、今後もキャリアアップを目指して努力される皆様を引き続き支援してまいりたいと思います。

女性医師・研究者支援部門
部門長

佐藤 麻子

臨床検査科 教授



女性医師・研究者支援部門では、子育て支援、研究支援員制度を行っております。子育て支援では、24時間体制の院内保育所と病児保育、病棟保育の事業支援を基本とし、さらに「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を行い、提供会員育成とスキルアップの講習会を実施しています。これは地域の人々から子育て支援を受け家族の福祉の向上を図ることを目的とした活動で、集団保育では対応困難な個別のニーズに対応したきめ細やかな支援を可能としています。研究支援員制度では、女性医師・研究者、そして女性研究者を支える男性研究者に研究支援員を配置し研究の遂行を支援しています。有効に活用していただき着々と業績を伸ばしております。今後も、皆様からのなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師再研修部門
部門長

多賀谷 悦子

内科学
(呼吸器内科学分野)
教授・基幹分野長



本部門では、種々の理由で離職された女性医師の復職に向けて、出身大学に関わらず、ご相談を受け支援を行っております。相談者の臨床経験や現在の個人の状況、そして、今後どのような働き方を目指したいかなど、詳しくヒアリングを行い、復職のための研修や実習などの情報をご提供し、個々に合った復職支援を検討しております。キャリアカウンセリングを行なっていく中で、初めと違う方向性を見出されることもあります。働き方改革も進み、女性医師の活躍により、医療全体の活性化が期待できることから、結婚、出産、育児などを契機に離職されている方が、医師としての社会貢献できるように、お力添えをさせて頂ければと考えております。

看護職
キャリア開発支援部門
部門長

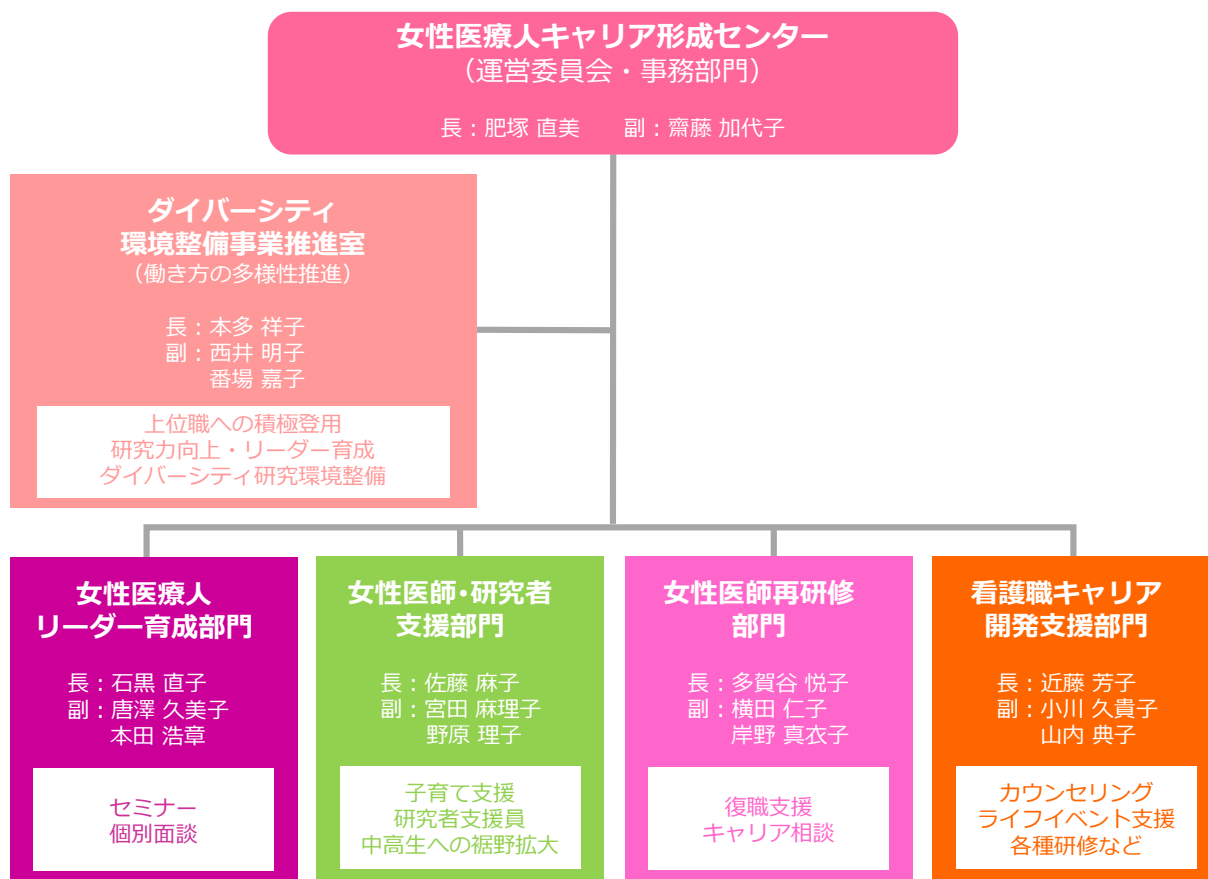
近藤 芳子

東京女子医科大学病院
看護部長



本部門は2009年4月の設立から今年で16年目を迎えました。看護職がキャリアを重ね勤務継続を支援するために、看護学部、看護専門学校、看護部が連携、協働して、看護職のキャリア開発支援構築更部門では、看護師が充実した仕事と生活を送ることができるようにサポートしていきます。今年度のプロジェクト内容は、キャリア・メンタルヘルスコンサルティング、看護専門領域スキルアップ研修、変革推進育成プロジェクト、看護研究支援、出産・育児キャリア支援の5つのプロジェクトで活動しています。院内教育や各種委員会活動とも連携しながら看護職者のニーズを把握し、生涯にわたるキャリア教育を進化させています。皆さまが自分らしくキャリアを積んでいかれますよう、看護職キャリア開発支援部門として応援していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

女性医療人キャリア形成センター組織図(2024年3月現在)



女性医療人キャリア形成センター運営委員(2024年3月現在) ※順不同、敬称略

職 位	氏 名
女性医療人キャリア形成センター長	肥塚 直美
女性医療人キャリア形成センター副センター長	齋藤 加代子
女性医療人リーダー育成部門長、医学部長	石黒 直子
女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
女性医師再研修部門長	多賀谷 悦子
看護職キャリア開発支援部門長	近藤 芳子
ダイバーシティ環境整備事業推進室長	本多 祥子
医療部門担当理事	内瀬 安子
教育部門担当理事	丸 義朗
看護学部長	小川 久貴子

各部門運営委員(2024年3月現在) ※順不同、敬称略

女性医療人リーダー育成部門

	職 位	氏 名
部門長	医学部長、皮膚科学(皮膚科学分野)教授・基幹分野長	石黒 直子
副部門長	放射線医学(放射線腫瘍学分野)教授・基幹分野長	唐澤 久美子
副部門長	実験動物研究所 所長・教授	本田 浩章
委員	女性医療人キャリア形成センター 副センター長	齋藤加代子
委員	女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
委員	女性医師再研修部門長	多賀谷悦子
委員	看護職キャリア開発支援部門長	近藤 芳子
委員	足立医療センター 麻酔科 教授	小森万希子
委員	足立医療センター 眼科 教授	須藤 史子
委員	麻酔科学(麻酔科学分野)教授・基幹分野長	長坂 安子
委員	微生物学免疫学(微生物学免疫学分野)教授・基幹分野長	柳澤 直子
委員	解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)教授・基幹分野長	石津 綾子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師再研修部門

	職 位	氏 名
部門長	内科学(呼吸器内科学分野)教授・基幹分野長	多賀谷悦子
副部門長	学生健康管理室 准教授	横田 仁子
副部門長	消化器内視鏡科	岸野真衣子
委員	足立医療センター 内科 教授	小川 哲也
委員	足立医療センター 耳鼻咽喉科 准教授	余田 敬子
委員	八千代医療センター 眼科 准教授	篠崎 和美
委員	皮膚科学(皮膚科学分野)准教授	福屋 泰子
委員	成人医学センター 講師	松村美由起
委員	八千代医療センター 乳腺・内分泌外科 講師	地曳 典恵
委員	産婦人科学(産婦人科学分野)講師	秋澤 叔香
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師・研究者支援部門

	職 位	氏 名
部門長	臨床検査科 教授	佐藤 麻子
副部門長	生理学(神経生理学分野) 教授・基幹分野長	宮田 麻理子
副部門長	衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 教授	野原 理子
委員	生理学(分子細胞生理学分野) 教授・基幹分野長	三谷 昌平
委員	小児科学(小児科学分野) 教授・基幹分野長	永田 智
委員	予防医学科 教授	村崎 かがり
委員	足立医療センター内科 教授	小川 哲也
委員	八千代医療センター 病理診断科 教授	中澤 匡男
委員	解剖学(神経分子形態学分野) 准教授	本多 祥子
委員	外科学(内分泌・小児外科学分野) 准教授	堀内 喜代美
委員	統合教育学修センター 基礎教育学(日本語) 講師	辻村 貴子
委員	統合教育学修センター基礎科学(化学) 講師	中村 裕子
委員	経営統括部 人事課 課長補佐	小谷 浩平
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村 裕見子

看護職キャリア開発支援部門

	職 位	氏 名
部門長	看護部 看護部長	近藤 芳子
副部門長	看護学部長 教授	小川久貴子
副部門長	八千代医療センター 看護部	山内 典子
委員	看護部 副部長	佐藤 美由紀
委員	看護部 がん看護専門看護師 エキスパートナース	渡邊 直美
委員	足立医療センター 看護部 副部長	内田 朋子
委員	八千代医療センター看護部 副部長	三好麻実子
委員	看護学部 看護管理学 講師	駒形 朋子
委員	看護学部 看護職生涯発達学 講師	吉田 千鶴
委員	看護学部 精神看護学 助教 リエゾン精神看護専門看護師	異儀田はづき
委員	看護専門学校 主事	前田 美那子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子



女性医療人キャリア形成センター

女性医療人リーダー育成部門



女性医療人リーダー育成部門

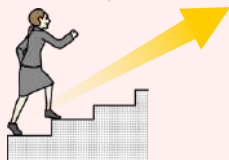


東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてよりよい社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための部門です。

2023年度実績

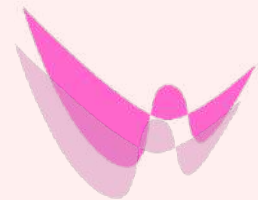
昇進・昇格

教授	1名
准教授	2名
講師	1名



女性医療人リーダー育成部門からの 教授昇格状況

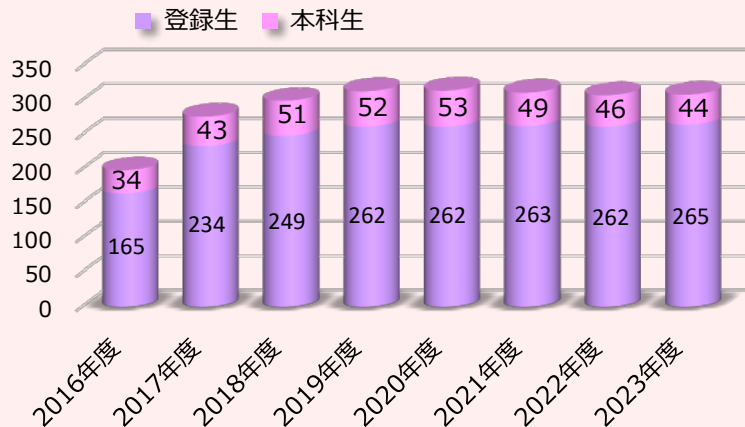
2017年度	教授 1 名	特命担当教授2名
2018年度	教授 8 名	特命担当教授1名
2019年度	教授 4 名	特命担当教授1名
2020年度	教授 3 名	
2021年度	教授 1 名	
2022年度	教授 3 名	
2023年度	教授 1 名	



個別面談

女性医療人リーダー育成部門の登録生のうち、特に個別指導やキャリア形成支援を希望する本科生に対し、個別面談を年1~2回実施しています。2023年度は、本科生10名に対し、副部門長ならびに運営委員が個別にキャリア面談を行いました。

登録者数



女性医療人リーダー育成部門

キャリアセミナー・リーダーシップセミナー

2024年3月28日開催
(オンライン)

キャリアセミナー
リーダーシップセミナー

齋藤 加代子 先生

東京女子医科大学 名誉教授・ゲノム診療科 特任教授
女性医療人キャリア形成センター 副センター長



齋藤加代子先生（本学名誉教授・ゲノム診療科特任教授・女性医療人キャリア形成センター副センター長）によるキャリア形成と女性がリーダーシップをとる意義についてご講演いただきました。

～参加者アンケートより～

- ・常にやりたいことを諦めずに追求する、自分自身がやりたいことなのだからチャンスを見逃さず本気でできるところまでがんばる、という先生の姿勢に感銘を受けました。
- ・常に好奇心を持ち、研究費を獲得するモチベーション、講演にあたって読まれた本からの抜粋など余すところなくお教えいただけ、大変貴重な機会でした。
- ・女性医師が卒後ライフイベントを乗り越えて業績を達成するお手本と思いました。
- ・ガラスの天井を自分で作らないという言葉が心に響きました。



石黒直子 部門長

齋藤加代子 先生



ピアラーニング

2024年2月5日開催
(オンライン)

明石 定子 先生

東京女子医科大学 外科学(乳腺外科学分野) 教授・基幹分野長



各科の教授から直接キャリア形成過程の体験談を聞き、その場で質疑応答できる貴重な場です。2023年度は、明石定子先生（乳腺外科学教授・基幹分野長）にご講演いただきました。

～参加者アンケートより～

- ・キャリアの前提として、まず仕事に対する好奇心や情熱(やりたくてしかたがない)が土台として存在しており、そこから臨床・研究に粘り強く取り組むなかで、おのずと業績、人脈ができていくことを教えていただきました。
- ・「難しい仕事は成長のチャンス」のほか、社会貢献のお話など、参考になりました。
- ・家事や育児に関して、全て大変だとひとくくりにはせず、掃除など外注できるもの、こどもの心など親が受け止めるべきものを分けて、冷静に対処することが大切だと感じました。



唐澤久美子 副部門長

明石定子 先生



英語セミナー

英語論文校正費用半額補助（1名）

かつら・コミュニケーションズ



女性医療人キャリア形成センター

女性医師・研究者支援部門



女性医師・研究者支援部門



多くの指導的立場となる優れた女性医師・研究者を育成し、価値ある業績を積み重ね、将来の日本の医療に貢献することを目指して、「女性医師・研究者支援部門」を設立いたしました。子育てなどのライフイベントと診療・教育・研究を両立し、キャリア形成を継続できる環境を整備します。

女性医師・研究者支援シンポジウム2023 2023年6月収録

【挨拶】

岩本 絹子 理事長
丸 義朗 学長

【開会の挨拶】

肥塚 直美 常務理事、女性医療人キャリア形成センター長

【東京女子医科大学の女性医師研究者支援】

佐藤 麻子 女性医師・研究者支援部門長、臨床検査科 教授

【女性医師研究者研究発表会】2022年度「研究支援員制度」利用者による研究報告

座長：岡崎 賢 整形外科学（整形外科学分野）教授・基幹分野長
演者：富永 絢子 整形外科学（整形外科学分野）助教

座長：石津 綾子 解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）教授・基幹分野長
演者：望月 牧子 解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）助教

【男性医師研究者研究発表会】2022年度「研究支援員制度」利用者による研究報告

座長：板橋 道朗 外科学（炎症性腸疾患外科学分野）教授・基幹分野長
演者：出雲 渉 外科学（肝胆膵外科学分野）助教

【2022年度研究プロジェクト 研究報告（医学部4年生）】

座長：宮田 麻理子 女性医師・研究者支援部門 副部門長
生理学（神経生理学分野）教授・基幹分野長
演者：大江 まこ〔腎臓小児科〕
小山 紗璃〔統合教育学修センター基礎科学（生物学）〕

【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）事業概要】

本多 祥子 ダイバーシティ環境整備事業推進室長、
解剖学（神経分子形態学分野）准教授

【閉会の挨拶】

石黒 直子 医学部長

女性医師・研究者支援部門

研究支援員制度

本制度は妊娠・出産・育児・介護等のライフ・イベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった研究者や高いレベルの研究を行っている将来有望な女性研究者を支援するもので、「研究支援員」の配置により、研究の継続と躍進を支援し、本学に於ける研究活動の活性化を図ることを目的としています。

白井 陽子 先生



研究課題 巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)の移植後再発と抗ネフリン抗体

最終学歴 東京慈恵会医科大学医学部医学科 卒業

現 職 東京女子医科大学 腎臓小児科 助教

研究内容 腎移植後巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)再発の原因として血中循環因子の存在が確実視されているが、いまだに同定されていませんでした。我々は、多施設共同研究で、腎移植後FSGS再発患者血漿を用いて、糸球体の蛋白尿濾過障壁であるスリット膜を構成する分子であるネフリンに対する自己抗体のELISAに取り組みました。研究支援員の方に多くの血清/血漿検体を用いて測定をして頂いた結果、腎移植後FSGS再発の全例で自己抗体が陽性でした。この結果は世界的にも評価され、国際腎臓学会誌に論文が受理されました。(Shirai Y, et al. Kidney Int. 2024;105:608-617. IF:19.6)

支援内容 抗ネフリン抗体のELISAを行なって頂いた。さらに、ELISAを応用して、サブクラス解析とepitope解析も行なって頂いた。

メッセージ 自身が臨床業務を行っている時間に支援員の方にELISAを行って頂き、スピーディーに結果を得ることが出来ました。それにより、世界的に先進的なタイミングで、成果を公表することが可能となりました。心より御礼を申し上げます。

番場 嘉子 先生



研究課題 手術進行を支援するAIナビゲーション外科手術の開発

最終学歴 東京女子医科大学大学院 卒業

現 職 東京女子医科大学 外科学（消化管外科学分野） 講師

研究内容 AIを利用して術前診断/手術/術後管理を行うTotal Navigation Surgeryを目指した研究をしています。AIは完成されたものではなく、常に更新されているため、試行錯誤しながら進めるところが難しいところです。何度もチューニングして成績の良いAIモデルが出来た時には、AIには形は無いのですが、自分の思い通りに構築しているため可愛いペットのように思えます。

支援内容 手術動画から静止画を大量に作成し、1枚1枚タグ付け作業と、それらをAIに学習させて診断成績を算出して頂きました。

メッセージ 研究支援員にサポートしてもらい、その分の時間を臨床業務や医局長業務、また家事の時間に使うことができました。帰宅後は子供の1日分の食事作りと洗濯などで毎日2時間必要なため時間的に綱渡り状態でも、1年間研究を進め成果を出すことができました。心より感謝申し上げます。

女性医師・研究者支援部門

女性研究者を支える
男性医学研究者のための研究支援員制度



令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（先端型）」の一環として女性研究者を支援している男性医学研究者のための研究支援員制度を実施しています。第二回目の採択者、菅野勇樹先生をご紹介します。

菅野 勇樹 先生



研究課題

ヒト歯髄幹細胞を細胞源とした高効率で経済的な軟骨細胞への分化誘導法の開発

最終学歴

東北大学歯学部 卒業（埼玉医科大学医学博士）

現職

東京女子医科大学 歯科口腔外科学（口腔顎顔面外科学分野） 講師

研究内容

当分野では、再生医療の細胞源として間葉系幹細胞よりも高い増殖能を持つといわれているヒト歯髄幹細胞（hDPSC）に注目しています。私は現在、hDPSCを用いた新たな力学的強度を有する三次元軟骨再生療法に関する研究を行っています。しかしながら、共働きで幼い子供もおり研究時間の確保が困難であったため、当制度へと応募させていただきました。

支援内容

細胞培養、RT-qPCR法、Western Blotting法などの実験補助だけでなく、国際学会での発表にむけて資料および情報の収集、整理、作成を行っていただきました。豊富な経験によって熟練の実験手技をお持ちであり、勉強させていただくことも多々ありました。

メッセージ

支援員の存在により自身の研究が著明に進展したように感じております。引き続き当分野の研究費で雇用を継続したいところでしたが、他の研究所に就職されてしまい、そこは残念に感じております。

女性医師・研究者支援部門

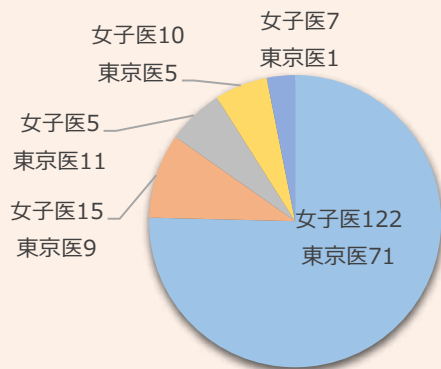
子育て支援

女子医大・東京医大 ファミリーサポート

子育て支援を受けたい人（依頼会員）と
子育て支援をしたい人（提供会員）が会員登録をし、
コーディネーターが調整をする会員制の相互援助活動です

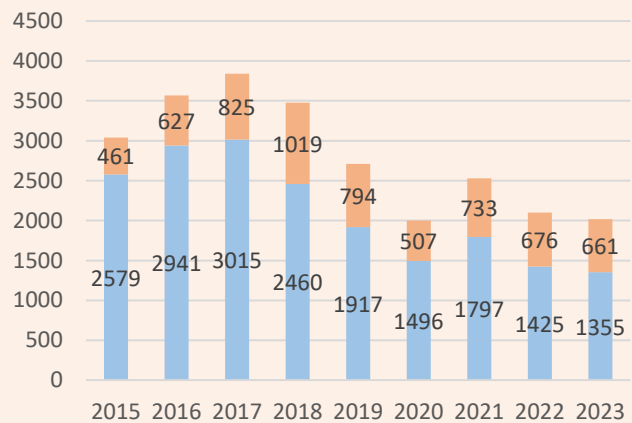


● 2023年度依頼会員256名の内訳



■ 医師 ■ 看護師 ■ 教員 ■ その他職員 ■ 学生

● 活動件数の推移



■ 女子医 ■ 東京医

※女子医：女子医大、東京医：東京医大

※「保育サービス講習会」を6月、11月に開催し、「スキルアップ研修」を9月、1月に開催しました。また、「全体交流会」を2月25日に開催しました。

● 本学では院内保育所を設置し、教職員の勤務をサポートしています

(人事課管轄)

院内保育所

2023年度保育所利用者延べ人数表



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼間保育	44	29	23	54	68	55	68	43	56	91	112	122	765
延長保育	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	2	7
夜間保育	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	12
休日保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病児保育	12	22	26	18	10	19	24	19	12	18	11	13	204
計	58	54	49	72	79	74	92	62	68	115	124	141	988



女性医療人キャリア形成センター

女性医師再研修部門



女性医師再研修部門

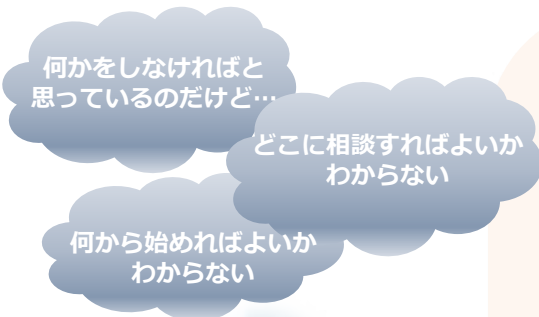


女性医師再研修部門は
相談者の出身大学を問わず、
「復職相談&再研修」を実施しています。

相談者の出身大学を問わず、全国から復職相談を受け付けており、キャリアカウンセリングやオーダーメイドの研修を実施することで女性医師の復職支援活動を行っています。

(2024年3月現在、感染防止の観点により病院での研修は中止しております)

研修・相談の流れ



「研修ありき」ではなく、
相談者の声に耳を傾け
「これからの自分」
をサポート

研修する、しないに関わらず
相談だけでもOKです。
お気軽にご相談ください！



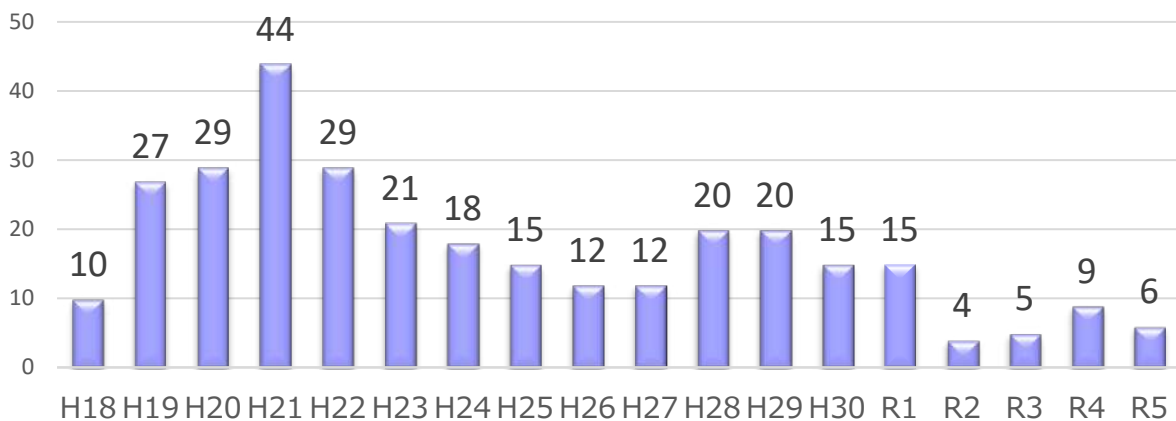
女性医師再研修部門

2023年度相談者状況(2024年3月末現在)

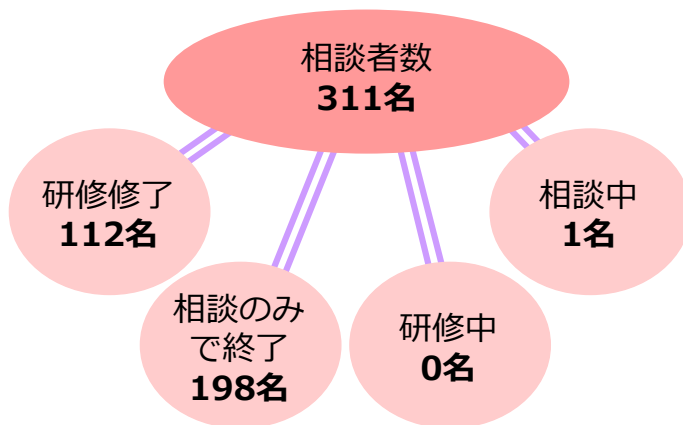
平成18(2006)年の設立以来、相談された方は311名となりました。
内訳は実際に研修をされた方が112名、研修を行わず働き方などを提案・紹介したり研修を行わず相談のみで修了された方が198名、相談中の方が1名となります。



相談者数の推移

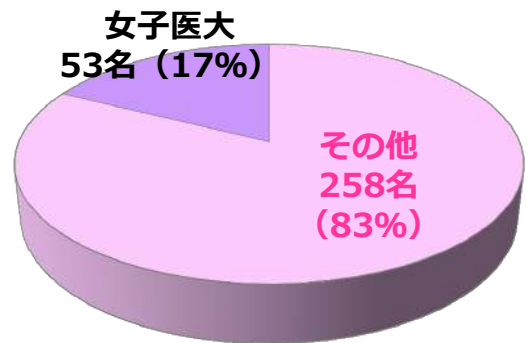


対応状況



※研修以外の提案を行ったケースも含む
(非常勤で勤務など)

出身大学

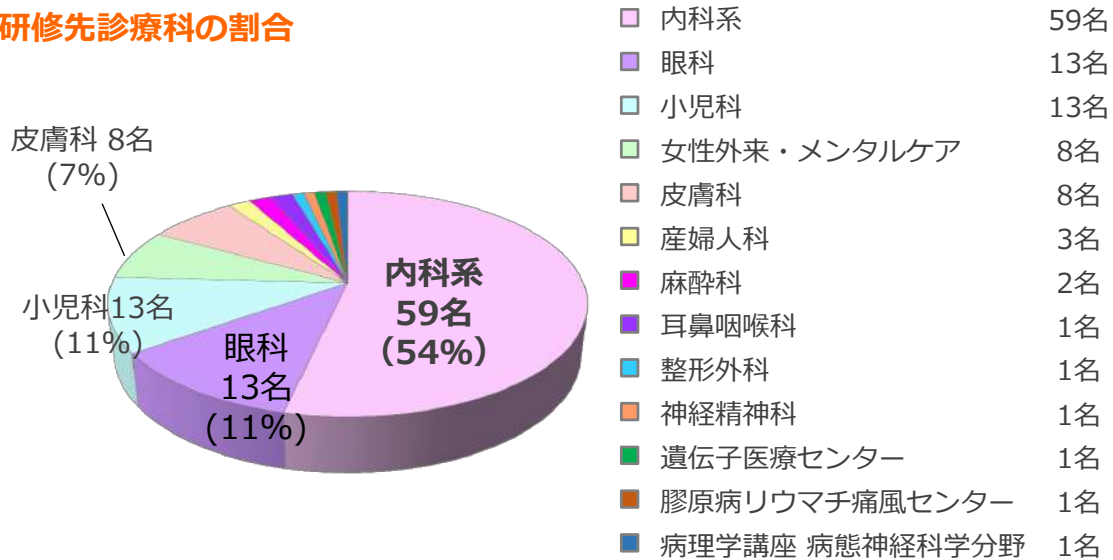


相談者の8割以上が「本学以外の卒業生」です



女性医師再研修部門

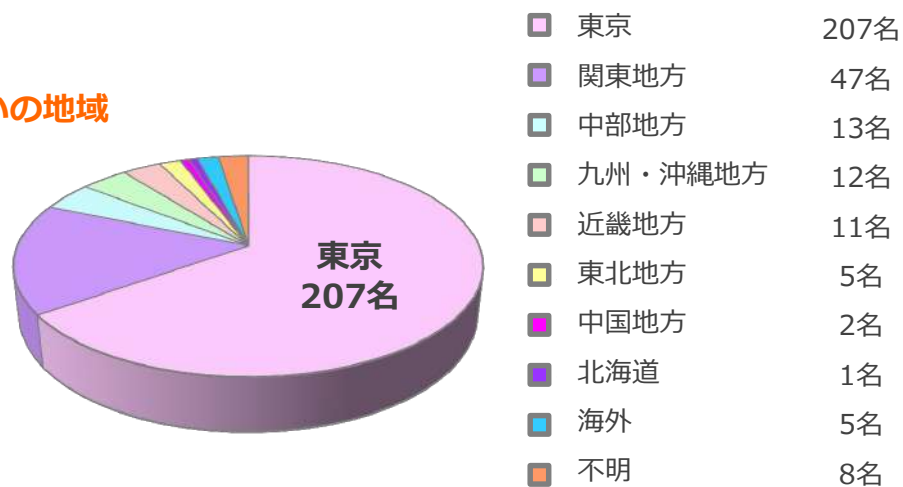
研修先診療科の割合



相談者の約8割が本学以外をご卒業された先生です。

令和5(2023)年度はCovid-19の影響により研修は中止となりましたが、メールやWeb面談を活用し、復職やキャリア相談に対応しました。

お住いの地域



女性医師再研修部門

相談・研修報告

2023年度はCovid-19の影響により、前年度に続き病院での実地研修は中止いたしました。メールによる復職・キャリア相談の受け付けを継続し、web面談等も活用しながら相談者へのアドバイスや今後の方向性に関する提案などを行いました。

相談者概要(2023年度)

	相談者	希望診療科	対応
1	40代 お子様1人 離職中	リハビリ テーション	【Web面談実施】 リハビリテーションに関する経験不足に悩まされていたが、面談の中で以前地域の病院を紹介してくれた先生がいることがわかり、まずはその先生にコンタクトを取り、自宅近くの病院を探すところから始めることを提案した。
2	40代 お子様2人 離職中	皮膚科 精神科	【相談のみ】 現在海外で医師以外の働き方をされていること、また20年間離職しており診療経験がほとんどないことから、目的がキャリア変更となるため当部門の支援対象ではないことをお伝えした。
3	40代 離職中	画像診断・ 核医学科	【Web面談実施】 面談で現状について確認し今後の方向性を検討した結果、本学の画像診断・核医学科に見学等の打診をすることとなった。
4	50代 離職中	訪問診療 在宅診療	【Web面談実施】 当部門の関係者を通じて、他病院において見学等の実施が決定した。
5	30代 お子様1人 非常勤	小児科	【Web面談実施】 面談で現状について確認し今後の方向性を検討した結果、まずは面談で伺った現在の事情を優先し、非常勤で行っている訪問診療や健康診断業務の継続を提案した。
6	40代 非常勤	内科	【Web面談実施】 面談で現状について確認し今後の方向性を検討した結果、ご友人のクリニックに見学を打診し、復帰に向けて進めることとなった。



女性医療人キャリア形成センター

看護職キャリア開発支援部門



看護職キャリア開発支援部門



看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指して5つのプロジェクトで活動しています。院内教育や各種委員会活動と連携しながら看護職者のニーズをキャッチし、一人ひとりの看護職者が生涯成長し続けるために役立つ内容を盛り込んだ活動をおこなっています。

キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト

キャリアカウンセリング

キャリアカウンセラーがキャリア上の問題を一緒に考えたり、キャリア開発の支援を行っています。

令和5(2023)年度実績

◆キャリアカウンセリング申込数 9件



メンタルヘルスカウンセリング

本人のみならず、不調を支える側のカウンセリングも実施しています。

令和5(2023)年度実績

- ◆メンタルヘルスカウンセリング 205名(590回)
- ◆メンタルヘルスの不調な看護師を支援する看護職者の相談 181名(249回)

看護職キャリア開発支援部門

自己学習支援プロジェクト

看護専門領域スキルアップ研修

専門領域における知識や技術を深め、日々の看護実践能力を向上します。

YouTube、Google Meet、Cloud Campusを導入したことで開催方法も多様になりました。各々の特性を生かし、様々な研修を行っています。

令和5(2023)年度実績

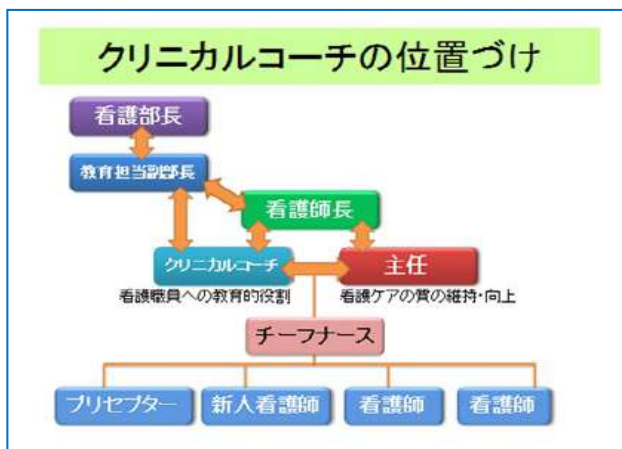
- ◆全11領域、41研修を実施
- ◆年間のべ383名が研修参加



変革推進力育成プロジェクト

クリニカルコーチ育成研修

クリニカルコーチは、部署において看護師長や主任と連携しながら教育的役割を担い、看護職者や看護学生を支援しています。



令和5年
3月15日(金)
15:00~17:00
オンライン
ZOOM開催

令和5年度
クリニカルコーチフォローアップ研修

研修内容：看護学習支援
認知地図申請の6ステップモデル
第1部：講義
第2部：事例を用いてグループワーク
クリニカルコーチの育成に関する研修
貴校・貴部署の施設・専攻の状況
自身の事例と一緒に検討して学びませんか

講師：貴山学院大学経営学部経済学科
教授 松尾隆先生

女子大での事例を使って、
6ステップについて解説を
交えて紹介していきます。

研修参加し6ステップを
目前に取り入れたいと考えた方は
最後のアンケートに、
その旨記載してください。

振り入れ実施した場合は、
松尾先生から実践中の相談を受ける
ことが可能です。

締切
3/10

対象
クリニカルコーチ
その施設・専攻
どなたでも参加可能
申し込みはコチラ

3/15にフォローアップ研修を開催

看護職キャリア開発支援部門

● 師長の変革推進能力向上支援

看護師長のキャリアアップと変革推進力を高めるための支援を行っています。



2024年2月6日に「看護師が定着する職場を目指して今できること」をテーマにオンライン研修を行いました。

講師は国際福祉医療大学大学院副学長の福井トシ子教授をお招きし、参加者は78名でした。

● 看護研究推進プロジェクト

看護部門と看護基礎教育機関(看護学部・看護専門学校)による研究活動の連携を推進し、看護の実践、教育、研究の質の向上を図っています。

● 「研究支援者ピアサポートの会」開催

2023年度は3回実施しました。個人的な研究相談などの意見交換や研究計画についての相談と助言など内容も様々で、実際に参加者は相談後に論文作成や研究を進めています。

● 「事例研究セミナー」開催

10月21日に東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野の池田真理教授によるセミナーを4年ぶりに対面で開催しました。

● 「セミナー：本学における看護研究の倫理審査受審のコツ」開催

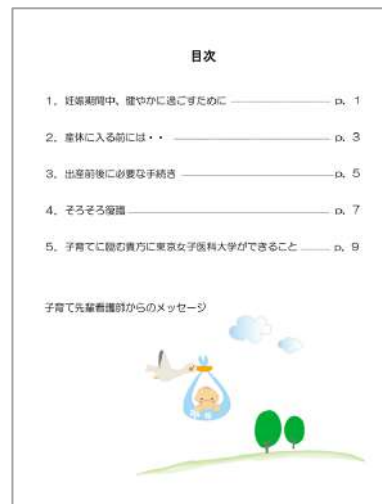
1月18日に本学看護学部教員で倫理審査委員会委員である濱田由紀教授によるセミナーを開催しました。

看護職キャリア開発支援部門

はたらき方支援プロジェクト

ライフイベント支援

妊娠・出産という女性にとって大きなライフイベントを迎えた方を対象に、ガイドブック「新しい家族を迎えるにあたって～ワーキングママ&パパを応援する本～」を配布しています。学内での様々な制度や手続き、また先輩子育て看護師からのメッセージも掲載されています。



キャリア支援制度

休職をしないで育児、進学、介護と日常の看護業務を両立できる制度や、国外研修のための休職制度、さらにキャリアアップのための「在籍したまま進学できる制度」を設けています。

①

看護職キャリア
継続支援のための
短時間勤務

休職はせずに
「育児」「介護」
「進学」等をしたい！
日常の看護業務と
両立したい！

②

看護職
国外研修休職

海外語学・看護研修、
ワーキングホリデイで
キャリア形成したい！

③

看護職進学休職

在籍したまま進学したい！
業務に必要な資格取得や
看護知識・技術の
ブラッシュアップをしたい！



女性医療人キャリア形成センター

ダイバーシティ 環境整備事業推進室



ダイバーシティ環境整備事業推進室



本学は平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、令和3年度に事業を終了し、【総合評価A】をいただきました。この「特色型」での取組は自主的に行われていることを前提として更に高い目標を掲げるとともに、女性研究者の活躍促進を踏まえたより広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組を進めていく機関として令和3年度「同(先端型)」に採択され、各部門と連携し、3つの柱を基盤として様々な取り組みを行っています。

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」
グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用
『YAYOIプロジェクト』



Your Attention to Your Own Innovation! 学祖 吉岡彌生(やよい)先生

「特色型」のフレームに先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標といたします。

- 女性在职比率：教授30%、准教授35%、講師40%
- 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- 介護支援の充実をはかる

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名による 女性教授登用 ③オープンノベーション 講演会・交流会	①架け橋研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者枠)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室、女性医療人リーダー育成部門、女性医師・研究者支援部門 理事長・学長・ 常務理事会議、理事会、 教授会	研究戦略会議、国際交流委員会、 研究科委員会 先端生命研究所 メディカルAIセンター	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持		目標2 介護支援制度利用者比率0.6%
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に 国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

ダイバーシティ環境整備事業推進室

ダイバーシティ環境整備事業報告会

2023年12月22日(金)オンラインにて「令和5年度ダイバーシティ環境整備事業 中間報告会」を開催しました。2021年度よりスタートした、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)における3年間の取組や成果報告の他、本事業の支援を受けた女性研究者にフォーカスしたロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」を上映し、研究支援者による研究成果報告を行いました。特別講演には、山村康子先生(科学技術振興機構 (JST) プログラム主管)をお招きし、「経営戦略としてのジェンダー公平性の推進」のテーマでご講演いただきました。



当日の様子はQRコードより
YouTubeにてご覧いただけます。

ロールモデル動画制作

女性研究者の意欲向上を目的に、本事業の支援を受けた女性研究者にフォーカスしたロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」を制作しました。日々最前線で医療・研究・患者と向き合う研究者たちがどのような思いでここまで歩み、どのような信念のもと日々研鑽を積んでいるのか、それぞれのSTORYを紐解きます。研究者の卵を含め、多くの女性研究者たちがリーダーシップをとって活躍する未来の自分の姿をイメージできるように、との思いを込めて制作しました。



本動画はQRコードより
YouTubeにてご覧いただけます。

【通常版】



【英語字幕版】



ダイバーシティ環境整備事業推進室

上位職への積極登用

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

現役准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニングforやよいびと」を開催し、演者をメンター・参加者をメンティーとした個別アドバイスを実施しています。

2023年 4月20日開催	中山優季先生(東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット ユニットリーダー)
2023年 6月19日開催	菊池規子先生 (東京女子医科大学 内科学(循環器内科学分野) 講師)
2023年 11月2日開催	福屋泰子先生 (東京女子医科大学 皮膚科学(皮膚科学分野) 准教授)
2024年 1月12日開催	小宮山陽子先生 (東京女子医科大学 看護学部 基礎看護学 准教授)

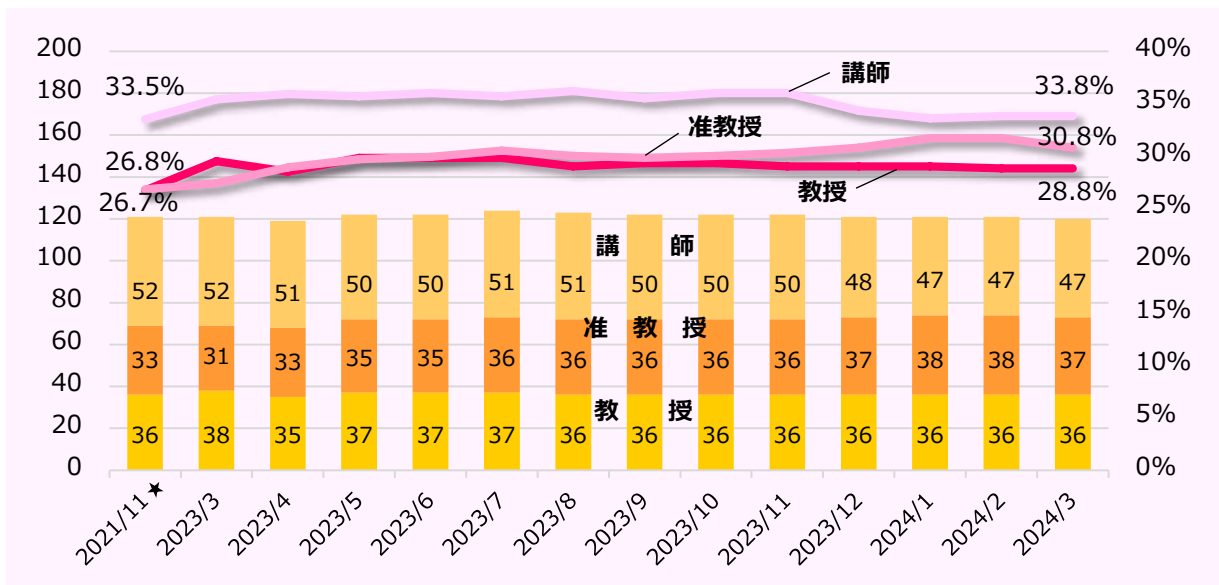
学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。

【職位別在籍数と女性割合】

	教授				准教授				講師			
	女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
2021年 11月★	26.7%	36	99	135	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
2023年 3月	29.5%	38	91	129	27.4%	31	82	113	35.4%	52	95	147
2024年 3月	28.8%	36	89	125	30.8%	37	83	120	33.8%	47	92	139

【職位別女性籍数と女性割合 2023年度推移】



★：ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）事業開始

ダイバーシティ環境整備事業推進室

上位職への積極登用

「彌生人メンター・メンティ賞」の設立

優れた研究指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師、看護師、non-MDを含む）が筆頭著として論文掲載を成し遂げた場合、または筆頭演者として学会発表等を行った場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師、看護師、non-MDを含む、男女問わず）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として両者を表彰し、メンティに対して研究助成を行う「彌生人メンター・メンティ賞」を設立しました。2023年度は、3ペアが受賞しました。

※採択時の職位・所属を記載

メンティ		メンター	
氏名	所属・職位	氏名	所属・職位
吉野真紀 先生	泌尿器科学(泌尿器科学分野) 助教	石原弘喜 先生	泌尿器科学(泌尿器科学分野) 助教
藤崎真由子 先生	内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 後期研修医	樋口智昭 先生	内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 特任講師
吉村麻未 先生	内科学(循環器内科学分野) 後期研修医	菊池規子 先生	内科学(循環器内科学分野) 講師



(前列左から) 本多室長、肥塚センター長、齋藤副センター長
(後列左から) 樋口先生、藤崎先生、菊池先生、吉村先生



(左から) 石原先生、吉野先生



オープンイノベーション講演会・交流会の実施

医・工・理の異分野連携、異業種連携の場として、オープンイノベーション講演会を開催しています。広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進しています。

2023年 9月7日 開催	「なぜ医師が研究をする必要があるのか？～無限の喜びと使命感～」 林(高木)朗子先生(理化学研究所・脳神経科学研究センター・多階層精神疾患研究チーム チームリーダー)
2024年 1月18日 開催	「診療から芽生える新しい領域への挑戦」 高橋倫子先生(北里大学医学部生理学 大学院医療研究科 細胞・分子生理学 教授)

ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

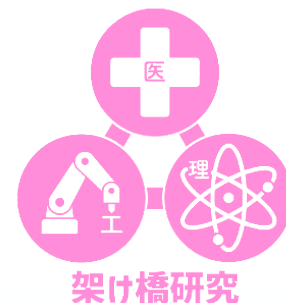
基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。2023年度は「架け橋研究支援制度」にて、5名の女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
青木信奈子先生	先端生命医科学研究所 助教	「血管新生抑制因子LYPDIの相互作用分子の探索・同定」
梅井菜央先生	集中治療科 准教授	「体外式膜型人工肺における新規抗凝固薬の確立－凝固第Ⅻ因子標的siRNAの役割の解明」
出口敦子先生	薬理学(薬理学分野) 准教授	「Toll様受容体を介した転移前微小環境形成を標的としたペプチド系治療薬の開発」
関桃子先生	内科学(腎臓内科分野) 後期研修医	「酸化ストレスと赤血球寿命の関係について」
番場嘉子先生	外科学(下部消化管外科学分野) 講師	「生成AIを用いた音声による大腸癌の術前説明とQ&A対応のシステム開発」



(前列左から) 本多室長、肥塚センター長、齋藤副センター長
(後列左から) 関先生、出口先生、梅井先生、番場先生



(左から) 本多室長、肥塚センター長、青木先生、齋藤副センター長



ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。2023年度は「国際共同研究支援制度」にて、2名の女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
白井陽子 先生	腎臓小児科 助教	「巣状分節性糸球体硬化症腎移植後再発における糸球体上皮細胞障害の分子メカニズムの解明」 「Molecular mechanism of podocyte injury in post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence」
矢作綾野 先生	解剖学 (顕微解剖学・形態形成学 分野) 助教	「トロンボポエチンシグナルによるリンパ球系細胞免疫調整メカニズムの解明」 「To elucidate the stress-related immunomodulatory roles of Thrombopoietin signaling」



(前列左から) 本多室長、肥塚センター長、齋藤副センター長
(後列左から) 白井先生、矢作先生

「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料を補助しています。2023年度は4名支援しました。

女性研究者をつなぐリアルタイムコミュニケーションツール「Slack」の活用

研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的に、オンラインコミュニケーションツール「Slack」を利用した【YAYOIコミュニティ】を開設しました。国際共同研究支援採択者を中心に、国際共同研究に関する情報交換や若手研究者からの海外留学相談など、研究者同士の交流が広がっています。

「国際研究講演会・交流会開催支援」の実施

新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として開催された講演会・交流会に対し、謝金を支援する制度を設立しました。2023年度は、麻酔科学 長坂安子教授・基幹分野長が主催するハーバード大学の前田歩先生による講演会を支援しました。

ダイバーシティ環境整備事業推進室

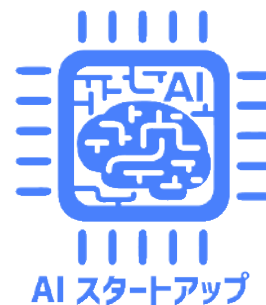
研究力の向上

保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援します。令和3(2021)年度は「AI研究スタートアップ支援制度」にて、3名の女性研究者を『AI研究スタートアップ支援金』により支援しました。

※採択時の職位・所属を記載

氏名	所属・職位	研究課題
大木里花子先生	移植管理科 助教	「腎移植生体ドナーの術後腎機能予測因子の検討」
中尾梨沙子先生	内科学(循環器内科学分野) 助教	「深層学習による仮想心筋PETとSPECT補正診断技術」
飯塚幸恵先生	看護学部 准教授	「分娩経過の予測診断AIシステムの開発に向けたパイロットスタディ：助産師の診断能力と生産性の向上を目指して」



(前列左から) 本多室長、肥塚センター長、齋藤副センター長
(後列左から) 大木先生、中尾先生、飯塚先生

「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助しています。2023年度は4名支援しました。

「AIインターンシップ制度」の構築

保健医療分野におけるAI研究を活性化するプロジェクトとして、希望者がAI医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIインターンシップ制度を実施しています。

8月を除く毎月開催	AI・臨床統計無料相談会
2023年7月27日開催	ChatGPT(Bing Chat)演習会
2023年11月22日開催	医療・ヘルスケアAI講演会
2024年2月20日開催	ランダム過程と確率を深く理解する実習

ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

科研費採択率向上のための申請書レビューの実施

女性研究者約17名に対し、科研費申請書の無料申請書レビューを実施しました。外部機関にて実際の申請書を添削、倫理構成に関するコメントや文章表現など、具体的なアドバイスを受けることができました。



科研費申請ハンドブックの作成

科研費の申請数ならびに採択率向上を目指し、科研費申請ハンドブックを作成、学内女性研究者に配布しました。科研費申請に関する内容の他、本学を代表する女性研究者の研究を紹介しています。



科研費セミナーの開催

昨年度に引き続き、講師に阿部知子先生（信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 リサーチ アドミニストレーション室 准教授）をお迎えし、科研費セミナーを開催しました。

2023年 6月30日 開催	「研究の新たな展開へ向けて～研究成果の活用～」
2023年 12月8日 開催	「科研費から産学連携を含めた研究の大型化を目指すには」



勤務環境の改善

「学会参加時の託児費補助制度」の実施

学会など（オンラインを含む）に参加する育児中の女性研究者が、託児サービスを利用する際、その費用の一部または全額を補助しています。2023年度は6件支援しました。

保育制度の整備

院内保育所のICT環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供しています。また、保育満足度とニーズ把握のための新規利用者アンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討しています。

よく子どものことを見てくれるので、安心しています。

～利用者の声～

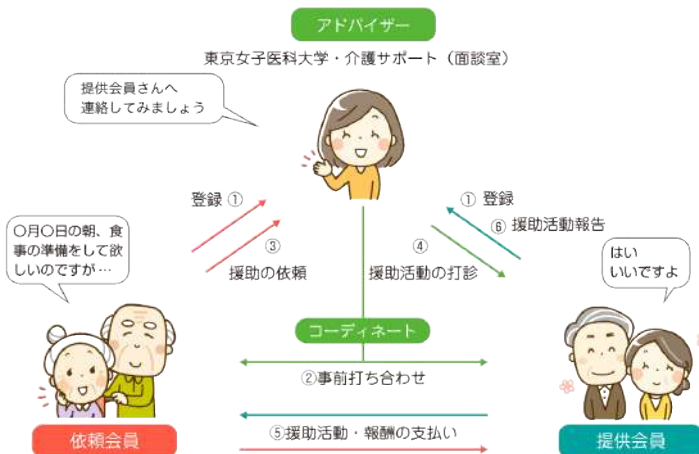
細やかに子どもの成長にあわせて対応いただき感謝しています。



ダイバーシティ環境整備事業推進室

実践的介護支援体制の構築

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託しているNPO法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、“ちょこっと介護見守り支援”を開始しました。まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。提供会員講習会を受講し修了した「提供会員」の皆さんが支援を行っています。



援助内容

- 食事の準備や後片付け
- 部屋の清掃や衣類の洗濯
- 通院時や買い物時の付き添い
- 病院等への薬とりや受付予約



※ただし介護保険適用外のサポートになります。

「介護なんでも相談窓口(Googleフォーム)」設置

本学教職員を対象とした「介護なんでも相談窓口(Googleフォーム)」を開設しました。実際の介護の困りごとなどはもちろん、具体的ではないけれどちょっと聞いてみたいことまで「なんでも」相談が可能です。当センターが窓口となり、本学常駐のアドバイザーと一緒にどのようにお力になれるか検討し、必要に応じて関連部署とも連携して対応しています。

介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供するため、介護経験者による介護講演会を開催しています。

2023年 7月21日 開催	「介護の制度とお金を知ろう」 井木みな恵氏 (株式会社ベネッセシニアサポート 法人事業部 部長)
2023年 11月6日 開催	「“小規模多機能型居宅介護”や“グループホーム”等の社会資源を知ろう！～高齢者との向き合い方と共生社会構築～」 加藤忠相氏 (株式会社あおいけあ 代表取締役社長)



研究支援員制度における対象者範囲の拡大

女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を2022年度より新設しました。2023年度は、菅野勇樹先生(歯科口腔外科学 講師)が支援対象に決定し、2023年4月1日～2024年3月31日まで支援員による研究支援を実施しました。



女性医療人キャリア形成センター

YouTube(e-ラーニング)



YouTube(e-ラーニング)

女性医療人キャリア形成センターではYouTubeを活用し、研究力向上やキャリア形成支援などを目的としたさまざまなセミナーや講演会を提供しております。

2023年度実績

※視聴回数は2024年3月現在

《ダイバーシティ環境整備事業》

公開月	タイトル	視聴対象	公開方法	視聴回数
2024年 2月	ロールモデル動画 「東京女子医科大学 私たちのSTORY」	一般公開	女子医大チャンネル (YouTube)	2,844
	ロールモデル動画 「東京女子医科大学 私たちのSTORY」《英語版》	一般公開	女子医大チャンネル (YouTube)	206
	令和5年度 ダイバーシティ環境整備事業中間報告会	一般公開	女子医大チャンネル (YouTube)	149

《研究成果報告》

公開月	タイトル	視聴対象	公開方法	視聴回数
2023年 11月	令和4年度 研究成果報告	一般公開	女子医大チャンネル (YouTube)	1,395

《科研費申請》

公開月	タイトル	視聴対象	公開方法	視聴回数
2023年 8月	第2回科研費セミナー 「研究の新たな展開へ向けて～研究成果の活用～」	本学 教職員	Cloud Campus	92
2024年 1月	第3回科研費セミナー 「科研費から産学連携を含めた研究の大型化を目指すには」	本学 教職員	Cloud Campus	30

《介護支援》

公開月	タイトル	視聴対象	公開方法	視聴回数
2023年 9月	第2回介護講演会 「介護のおカネいくらかかるの？ ～介護にかかるおカネと心の準備～」	本学 教職員	Cloud Campus	190
2024年 1月	第3回介護講演会 「小規模多機能型居宅介護」や「グループホーム」 等の社会資源を知ろう！	本学 教職員	Cloud Campus	103



女性医療人キャリア形成センター

活動報告・業績一覧等



活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2023年 4月	3日	研究支援制度（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）募集開始					★
	12日	なんでも介護相談窓口（Googleフォーム）開設					★
	14日	学会参加時等の託児費補助制度、英語論文掲載料補助制度、AI講習会、研修会 参加費補助制度、国際学会参加費等補助制度 受付開始					★
	20日	第4回ピアラーニングforやよいびと開催（対面・オンライン）					★
	21日	第18回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	第1回介護サポート調整会議（オンライン）					★
	"	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	24日	国際的に活躍する研究者等による国際研究講演会・交流会開催支援 募集開始					★
	26日	第1回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
5月	1日	ファミサポ通信Vol.31発行		★			
	18日	第19回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	19日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	23日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
	24日	第2回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	25日	国際共同研究指導者による個別相談会 受付開始					★
	29日	第2回介護サポート調整会議（オンライン）					★
	30日	第22期保育サービス講習会開講		★			
6月		女性医師・研究者支援シンポジウム収録配信		★			
	1日	彌生人メンター・メンティ賞 募集受付開始					★
	14日	第3回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	16日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
6月	19日	第5回ピアラーニングforやよいびと開催（対面・オンライン）					★
	20日	第20回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	研究支援（架け橋研究支援）面接審査実施					★
	21日	研究支援（国際共同研究支援）、研究支援（AI研究スタートアップ研究支援）面接審査実施					★
	27日	第3回介護サポート調整会議（オンライン）					★
	30日	第2回科研費セミナー開催（オンライン/参加30名）					★
7月	6日	科研費申請書の無料申請書レビュー実施（7/6～8/10）					★
	11日	研究支援選考会実施、採択者決定（架け橋研究支援5名、国際共同研究支援2名、AI研究スタートアップ研究支援3名）					★
	12日	株式会社ベネッセシニアサポート「ベネッセ Work & Care」介護支援についてインタビュー取材（本多室長）					★
	13日	「ちょこっと介護見守り支援」第3回提供会員講習会開催（7/13・7/21）					★
	21日	第21回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	"	第2回介護講演会（オンライン）					★
	24日	第4回介護サポート調整会議（オンライン）					★
	25日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
	26日	第4回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
27日	第1回ChatGPT(Bing Chat)演習会					★	
8月	10日	研究支援（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）採択者授与式開催					★
	17日	第22回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	彌生人メンター・メンティ賞 選考会実施、受賞者決定（3組）					★
	18日	「m3.com」女性活躍についてインタビュー取材（肥塚センター長、齋藤副センター長、本多室長）	★	★	★	★	★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
8月	22日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）JST訪問調査					★
	"	第5回介護サポート調整会議（オンライン）					★
	31日	女性研究者ロールモデル集動画撮影（8/31・9/4）					★
9月	1日	介護サポート通信vol.2号発行					★
	5日	第5回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	7日	第4回オープンイノベーション講演会（オンライン）					★
	19日	ファミリーサポート・前期スキルアップ研修会		★			
	"	第23回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	21日	第6回介護サポート調整会議					★
	"	介護サポート提供会員向け茶話会開催					★
	22日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
	"	第34回女性医師・研究者支援部門運営委員会開催（オンライン）		★			
10月	1日	ファミサポ通信Vol.32発行		★			
	"	女性医師を支える男性医学研究者のための研究支援員制度応募開始		★			★
	"	女性医学研究者のための研究支援員制度応募開始		★			
	2日	第2回「彌生人メンター・メンティ賞」授与式開催					★
	19日	第24回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	第7回介護サポート調整会議					★
	20日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	24日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
10月	25日	第6回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	31日	第23期保育サービス講習会開講		★			
11月	2日	第6回ピアラーニングforやよいびと開催（対面・オンライン）					★
	6日	第3回介護講演会（オンライン）					★
	"	令和4(2022)年度研究支援採択者による研究成果動画 YouTube東京女子医大公式チャンネルにて公開開始					★
	7日	麻酔科主催 国際研究講演会開催支援（オンライン）					★
	14日	第7回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	"	ファミリーサポート運営委員会（オンライン）		★			
	16日	第8回介護サポート調整会議					★
	17日	第25回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	22日	第3回医療・ヘルスケアAI講演会開催（オンライン）					★
	27日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）中間面接評価実施	★	★	★	★	★
12月	8日	第3回科研費セミナー開催（オンライン）					★
	15日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	"	第8回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	19日	第26回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	22日	令和5年度ダイバーシティ環境整備事業中間報告会開催・ロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」上映（オンライン）					★
	"	「科研費ハンドブック」女性研究者紹介インフォグラフィック制作（12/22～2/29）					★
	26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
	"	第9回介護サポート調整会議					★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2024年 1月	12日	第7回ピアラーニングforやよいびと開催（対面・オンライン）					★
	18日	第27回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	第5回オープンイノベーション講演会（オンライン）					★
	19日	ロールモデル動画「東京女子医科大学 私たちのSTORY」 YouTube東京女子医大公式チャンネルにて公開開始					★
	"	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	"	第9回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	25日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 中間評価結果「A」	★	★	★	★	★
	26日	ファミリーサポート・後期スキルアップ研修会		★			
	29日	令和6(2024)年度女性研究者を支える男性研究者のための 「研究支援員制度」プレゼン・面談審査		★			★
	"	第10回介護サポート調整会議					★
31日	東海大学医学部附属病院「第2回キャリア支援セミナー」にて講演			★			
2月	5日	第16回ピアラーニング（オンライン）	★				
	6日	女性医療人リーダー育成部門運営委員会（メール会議）	★				
	14日	第10回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	16日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	19日	介護サポート・提供会員スキルアップ研修会					★
	20日	第28回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	"	第2回AI演習会ランダム過程と確率を深く理解する実習					★
	"	第35回女性医師・研究者支援部門運営委員会開催（オンライン）		★			
	22日	第11回介護サポート調整会議					★
	25日	ファミリーサポート・全体交流会		★			

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

	日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2月	27日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
3月	11日	長野県健康福祉部 保健・疾病対策課による本学女性医師等研究者支援に関する視察ならびに意見交換	★	★	★	★	★
	13日	第20回女性医師再研修部門運営委員会（メール）			★		
	18日	第11回ファミリーサポート調整会議開催（オンライン）		★			
	19日	第29回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）	★	★	★	★	★
	22日	AI・臨床統計無料相談会 開催					★
	25日	第12回介護サポート調整会議					★
	26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会（オンライン）				★	
	28日	キャリアセミナー・リーダーシップセミナー開催（オンライン）	★				
	"	「女性研究者のための科研費申請ハンドブック」完成					★
	"	女性医療人キャリア形成センター運営委員会(オンライン)	★	★	★	★	★
29日	令和3(2021)年度～令和5(2023)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」中間報告書発行	★	★	★	★	★	

業績一覧

【支援を受けた医師・研究者の業績一覧です】

学会発表

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
辻真世子	ミニシンポジウム	口演	第63回日本呼吸器学会学術講演会	COVID-19感染症における血清 VEGF の検討	横浜	2023/4/5
番場嘉子,板橋道朗,小川真平,金子由香,近藤宏佳,腰野蔵人,谷公孝,前田文,山口茂樹	ワークショップ	口演	第123回日本外科学会	最先端技術 (AI・デジタルツイン) を用いた大腸癌に対する Total Navigation Surgery	東京	2023/4/28
富永絢子,猪狩勝則,矢野紘一郎,山田晃史,岡崎賢	一般講演	口演	第96回日本整形外科学会総会	関節リウマチ前足部関節温存手術の成績と関節破壊重症度の関連性の分析	横浜	2023/5/11
富永絢子,和田圭司,岡崎賢	ポスター	ポスター	第96回日本整形外科学会総会	骨形成薬と骨吸収抑制薬の投与順序による影響	横浜	2023/5/11
富樫 悠,菅野勇樹,柴山知紗,賀川千瑛,赤城裕一,岡本俊宏,古賀陽子	一般公演	口演	第77回日本口腔科学会学術集会	節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型が原因となり鼻口腔瘻を生じた1例	岡山	2023/5/12
番場嘉子,板橋道朗,小川真平,金子由香,近藤宏佳,腰野蔵人,谷公孝,前田文,山口茂樹	領域別セッション 今だから、ロボット支援手術と従来の内視鏡手術の共存を考える	口演	第35回日本小切開・鏡視外科学会	直腸Rb癌に対する機械学習による手術時間予測と手術マネージメント	東京	2023/6/3
富樫 悠,菅野勇樹,長浜浩平,前田祐佳,古賀陽子	一般公演	口演	第33回日本顎変形症学会総会・学術集会	上顎前歯部歯槽骨切り術における小臼歯術前抜歯の有用性	東京	2023/6/9
白井陽子,三浦健一郎,堀田茂,安藤太郎,石塚喜世伸,服部元史,渡井至彦,武田朝美,後藤芳光,橋本淳也,濱崎祐子,堀田記世彦,齋藤和英,成田一衛,本田一穂,石田英樹	一般公演	口演	第58回日本小児腎臓病学会学術集会	腎移植後FSGS再発における抗nephrin抗体の関与	大阪	2023/7/1

業績一覧

演者	形式	区分	研究会 学会名	タイトル	開催 場所	年月日
白井陽子,三浦健一郎, 堀田茂,安藤太郎, 石塚喜世伸,服部元史, 渡井至彦,武田朝美, 後藤芳光,橋本淳也, 濱崎祐子,堀田記世彦, 齋藤和英,成田一衛, 本田一穂,石田英樹	一般公演	口演	移植腎病理 研究会・第 26回学術集 会	腎移植後FSGS再 発例における抗 nephrin抗体の関 与	名古屋 /オン ライン	2023/7/8
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	シンポジウム	口演	第78回日本 消化器外科 学会	最先端技術(AI・ メタバース)を利 用した安全で最適 な大腸癌診療- Total Navigation Surgery-の実現	函館	2023/7/13
Hisako Nakayama, Sachie Sekino, Mariko Miyata	一般講演	ポスター	第46回日本 神経科学大 会	Activation of neuronal glucocorticoid receptors by adolescent social isolation reorganizes neural circuits in the sensory thalamus.	仙台	2023/8/2
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 森田賢,山口茂樹	一般口演	口演	第22回日本 VR医学会	AI・デジタルツィ ン・AR を利用し た安全で最適な大 腸癌診療-Total Navigation Surgery-の実現	大阪	2023/8/26
中山寿子,関野沙知絵, 宮田麻理子	ポスター	ポスター	学術領域研 究A「臨界 期生物学夏 の領域班会 議」	思春期ストレスに よる視床ニューロ ンのグルココルチ コイド受容体を介 した神経回路改編	南房総	2023/8/31
番場嘉子	ポスター	ポスター 日本肝 臓学会 国際学 会に伴 う助成 対象者 として 選出	第21回男女 共同参画学 協会	女性医師・研究者 の上位職登用 研 究力向上とダイ バーシティ研究環 境整備	東京	2023/10/14

業績一覧

演者	形式	区分	研究会 学会名	タイトル	開催 場所	年月日
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	一般口演	口演	第12回 HALS Group Meeting	凍結骨盤患者にお ける手術方法のオ プションとしての HALS の有用性	東京	2023/10/29
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	統合プログ ラム	口演	第32回日本 消化器関連 学会週間 JDDW2024	最先端技術 (AI・ 仮想空間) を用い た大腸癌に対する Total Navigation Surgery	神戸	2023/11/4
番場嘉子	一般演題	口演	第19回 KAMPO Clinical Conference	大建中湯の使用経 験と文献的考察	東京	2023/11/7
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	ビデオシン ポジウム	口演	第78回日本 大腸肛門病 学会	AI・メタバース を用いた新時代の Total Navigation Surgery	熊本	2023/11/11
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	総会特別企画	口演	第85回日本 臨床外科学 会総会	消化器外科医を継 続するための日々 の自己研鑽-運 動・食事・睡眠と 精神性-	岡山	2023/11/16
白井陽子,服部元史, 田邊賢司,三浦健一郎, 安藤太郎,堀田茂, 宮川友子,神田祥一郎, 橋本淳也,濱崎祐子, 高野朋子,堀田記世彦	一般公演	口演	第44回日本 小児腎不全 学会学術集 会	腎移植後FSGS再 発における抗 nephtrin抗体の関 与	佐賀	2023/12/1
辻真世子		口演	肺機能セミ ナー	喘息発症における 新たな知見 ~STINGをター ゲットとした2型炎 症の病態解明を含 めて~	東京	2023/12/1
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 山口茂樹	シンポジウム	口演	第36回日本 内視鏡外科 学会	最先端技術 (AI・ デジタルツイン・ 複合現実MR) を用 いた大腸癌に対す るTotal Navigation Surgery	横浜	2023/12/9
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,金子由香, 腰野蔵人,谷公孝, 前田文,山口茂樹	一般演題	口演	第60回日本 腹部救急医 学会総会	大腸穿孔術後に感 染性動脈瘤を来し た1例	北九 州	2024/3/22

業績一覧

論文

著者名	タイトル	誌名
Kaoru Yamashita, Satoshi Morimoto, Shihori Kimura, Yasufumi Seki, Kanako Bokuda, Daisuke Watanabe, Mayoko Tsuji , Ken Arimura, Ken Shimamoto, Etsuko Tagaya, Masatoshi Kawana and Atsuhiko Ichihara	Hyperuricemia and the Severity of Coronavirus Disease 2019 in Japan: A Retrospective Cohort Study	An Inseparable Relation with Hypertension and Chronic Kidney Disease Endocrinology, Diabetes and Metabolism Journal 7(2): 1-6, 2023.5
Shirai Y , Miura K, Hamada R, Ishikura K, Kunishima S, Hattori M	A nationwide survey of MYH9- related disease in Japan.	Clin Exp Nephrol. 2023 Sep 21. doi: 10.1007/s10157- 023-02404-3.
Yuki Kanno , On Hasegawa, Chika Togashi, Daichi Chikazu, Yoko Kawase-Koga	A novel dressing method to achieve early natural tracheostoma closure	Journal of Craniofacial Surgery. in press
Shirai Y , Miura K, Ishizuka K, Ando T, Kanda S, Hashimoto J, Hamasaki Y, Hotta K, Ito N, Honda K, Tanabe K, Takano T, Hattori M	A multi-institutional study found a possible role of anti-nephrin antibodies in post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence.	Kidney Int. 2023 Dec 16:S0085- 2538(23)00860-8.
Yagisawa T, Kanzawa T, Hirai T, Unagami K, Shirai Y , et al/	En bloc kidney transplantation from pediatric donors to teenage recipients: Two case reports.	IJU case rep.2023.Dec doi: 10.1002/iju5.12686
Shirai Y , Miura K, Ishizuka K, Ando T, Kanda S, Hashimoto J, Hamasaki Y, Hotta K, Ito N, Honda K, Tanabe K, Takano T, Hattori M	A multi-institutional study found a possible role of anti-nephrin antibodies in post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence.	Kidney Int. 2024 Mar;105(3):608- 617.
Shirai Y , Miura K, Ando T, Honda K, Segawa O, Hattori M	Asymptomatic Early-Stage Encapsulating Peritoneal Sclerosis Identified Laparoscopically,	The Journal of Pediatrics: Clinical Practice, https://doi.org/10.1016/j.jpdc.2024.200110 .
番場嘉子	東京女子医科大学におけるダイバーシ ティ推進とリーダー育成の変遷	日本外科学会誌 124(4):311- 31A2.2023

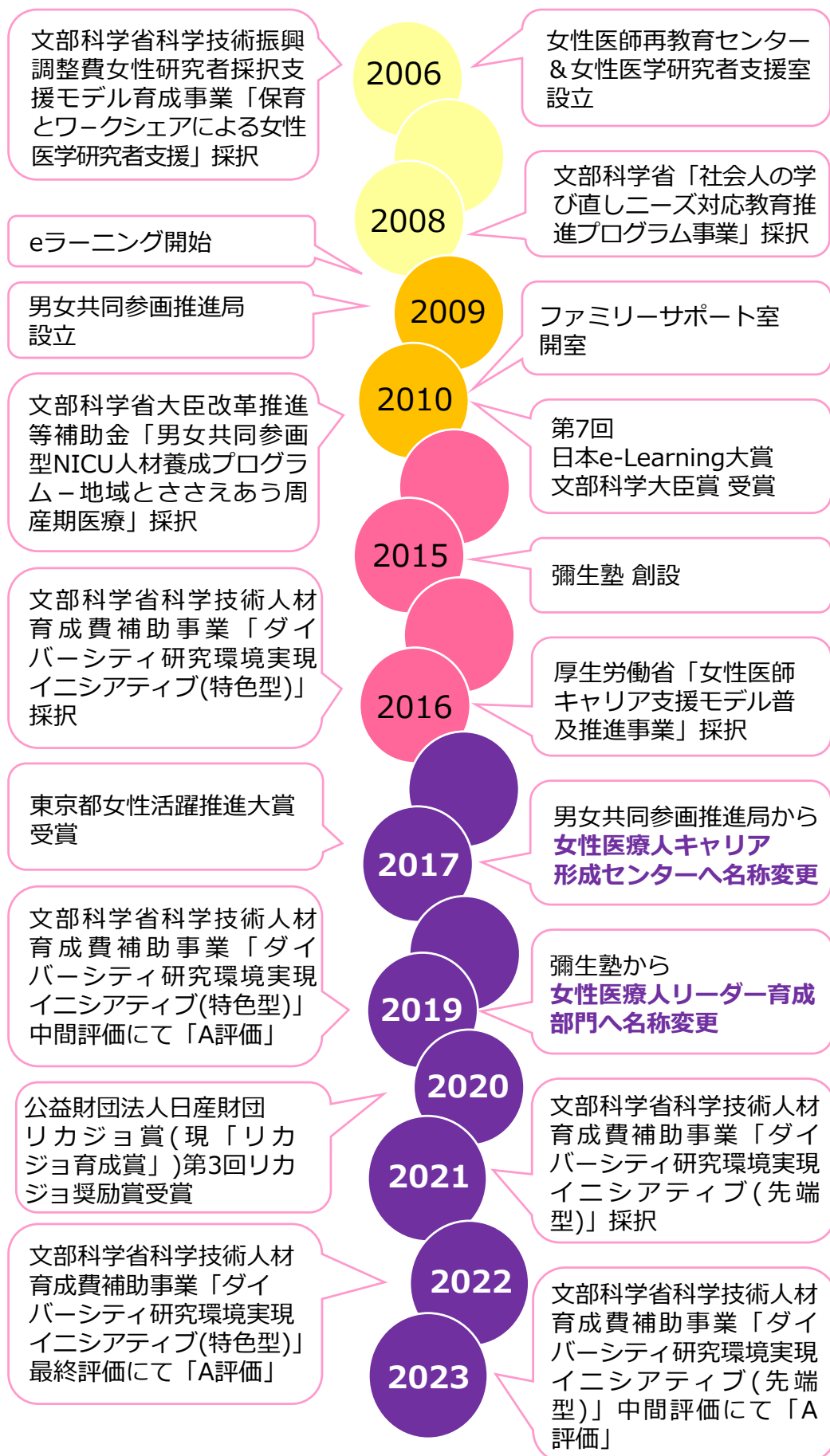
業績一覧

著者名	タイトル	誌名
番場嘉子,板橋道朗, 小川真平,時任史聡,山口茂樹	AI 支援下消化器外科手術 の現状と展望 大腸癌手術 における AI の応用	手術 第 78 巻第 5号.2024
Mayoko Tsuji, Mitsuko Kondo, Yasuto Sato, Azusa Miyoshi,Fumi Kobayashi, Ken Arimura, Kaoru Yamashita, Satoshi Morimoto, Naoko Yanagisawa, Atsuhiko Ichihara, Etsuko Tagaya.	Serum VEGF-A Levels on Admission in COVID-19 Patients Correlate with SP-D and Neutrophils, Reflecting Disease Severity	Cytokine (178)156583, 2024

その他

氏名	機関	名称	
番場嘉子		東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター 令和5年度架け橋研究支援	2023/8/1

女性医療人キャリア形成センターのあゆみ



女性医療人キャリア形成センター基金

女性医療人の勤務継続支援および医療人としてのキャリア形成とリーダーシップ育成を行う目的として実施しております女性医療人キャリア形成センター基金につきましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

これからの社会において多くの女性医療人たちが活躍できるよう、深いご理解とご関心をお寄せくださる皆様から賜りましたご芳志を深謝するとともに重ねて心からお礼申し上げます。

● **ご寄付合計額** 1,000,000円（2023年度）

● **ご芳名一覧（五十音順）** 匿名1名

申込方法、振込方法、免税措置（企業等法人、個人）など、寄付に関する詳細につきましては裏表紙に記載のセンター事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

こちらからも詳細をご覧くださいませ ⇒



メ モ

**女性医療人キャリア形成センター
Annual Report 2023**

発行 令和6(2024)年7月
編集 女性医療人キャリア形成センター
MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp
URL <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>



東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
TEL:03-3353-8112(内線 30166) FAX:03-3353-6793
MAIL:cdc.bm@twmu.ac.jp